

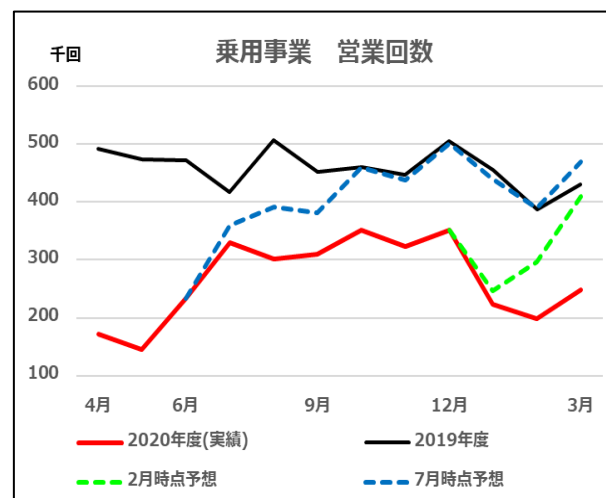
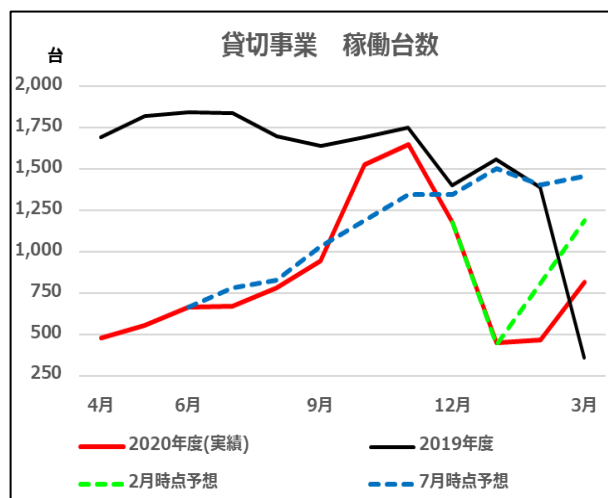
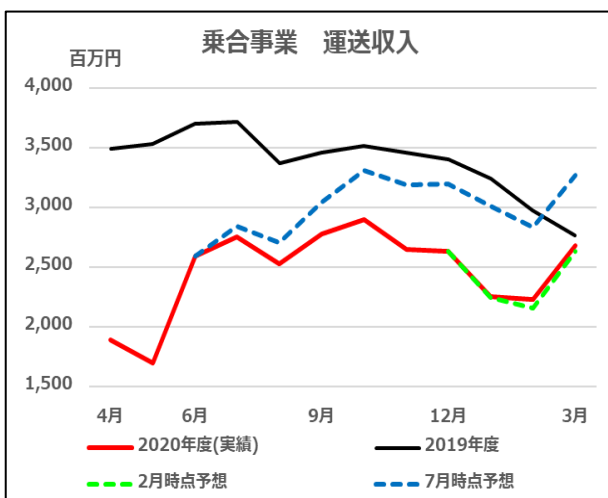
2021年3月期 決算説明資料

2021年4月27日
神奈川中央交通株式会社



一般旅客自動車運送事業の状況

	営業状況	影響
乗合事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 路線バス（一部ダイヤ変更） 4/24～5/29 平日を土曜ダイヤで運行 4/4～8/29 土曜を休日ダイヤで運行 ■ 空港線など一部運休 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4月～5月の緊急事態宣言期間は、外出自粛等により、売上高が大きく減少したものの、宣言解除後は回復基調で推移 ■ 1月の緊急事態宣言再発出の影響により、売上高が再び減少したものの、3月にかけて回復
貸切事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需要の減少に伴い、稼働台数を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「宣言期間（4月～5月）」は、旅行団体が全てキャンセルとなり稼働台数が大きく減少したものの、宣言解除後は学生団体を中心に需要が増加 ■ 「再発出」により、稼働台数が再び大きく減少したものの、3月の稼働台数は前年を上回る
乗用事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需要の減少に伴い、稼働台数を抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「宣言期間（4月～5月）」は、外出自粛等により、移動需要が大きく後退したことで営業回数が減少したものの、宣言解除後は回復基調で推移 ■ 「再発出」により、営業回数が再び減少



不動産事業の状況

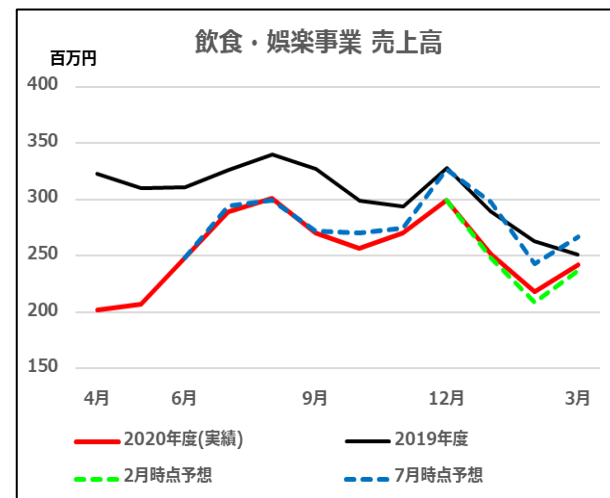
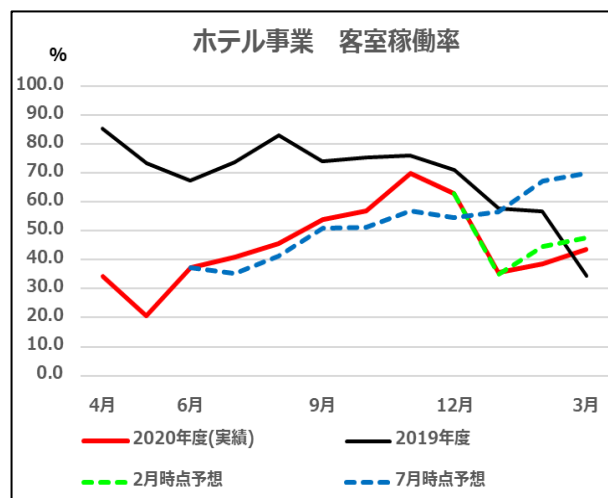
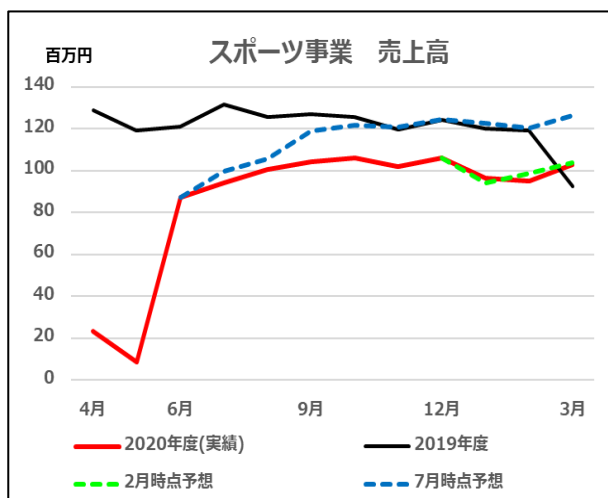
	営業状況	影 響
分譲事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4月～5月の緊急事態宣言期間を中心にマンション販売の案内所を臨時休業 ■ 戸建分譲の内覧会を完全予約制で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ マンション分譲は、販売開始時期の遅延が販売戸数に影響
賃貸事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商業施設等は通常営業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上歩合賃料の減少、テナント退出があったが、影響は軽微 ■ 賃料の支払猶予の要請などがあったが、影響は軽微

自動車販売事業の状況

	営業状況	影 響
商用車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4月～5月の緊急事態宣言期間を中心に訪問営業を自粛 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新車販売において需要が低迷し、販売台数はトラックで前年比9割程度、バスは前年比3割程度に減少 ■ 自動車整備や部品販売は堅調に推移
輸入車販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4月～5月の緊急事態宣言期間を中心に営業時間を短縮 ■ オンラインや電話での営業を継続実施し、顧客の了解のもと対面での営業活動も徐々に再開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新車販売台数は、前年比で減少したものの、高単価の車両の販売により売上高は前年比5%程度の増収

その他の事業の状況

	営業状況	影響
レジャー・スポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間を中心にスポーツ施設等で臨時休業・営業時間短縮 ■ ゴルフ場は12月下旬までセルフスループレーで営業を継続し、以降は通常営業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4月～5月の緊急事態宣言期間は、臨時休業による影響でスポーツ事業売上高が一時的に大きく減少したものの、宣言解除後は施設営業再開により、前年比7割程度まで回復 ■ 1月の緊急事態宣言再発出による外出自粛等が影響し、回復が鈍化
ホテル事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宿泊は通常営業 ■ 緊急事態宣言期間を中心にホテル料飲店舗は臨時休業・営業時間短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「宣言期間（4月～5月）」は、外出自粛等による宿泊客数の減少に伴い客室稼働率が前年に比べ大きく減少したものの、宣言解除後は段階的に回復 ■ 「再発出」により、客室稼働率が再び大きく減少
飲食・娯楽事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急事態宣言期間を中心に、臨時休業・営業時間短縮 ■ 感染予防のため、座席数を制限し営業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「宣言期間（4月～5月）」は、臨時休業による影響で売上高が大きく減少したものの、宣言解除後は店舗営業再開により、前年比8割～9割程度で推移 ■ 「再発出」により、売上高が再び減少



単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	増減
売上高	90,915	112,702	△ 21,787 (△ 19.3%)	91,200	△ 284 (△ 0.3%)
一般旅客自動車運送事業	40,379	57,155	△ 16,776	40,800	△ 420
不動産事業	6,487	6,577	△ 89	7,070	△ 582
自動車販売事業	26,120	31,801	△ 5,680	25,830	290
その他の事業	25,773	31,226	△ 5,453	25,430	343
調整額	△ 7,846	△ 14,058	6,212	△ 7,930	83
営業利益	△ 5,940	5,329	△ 11,270 (-)	△ 6,550	609 (9.3%)
一般旅客自動車運送事業	△ 9,138	1,469	△ 10,607	△ 9,420	281
不動産事業	2,713	2,619	93	2,740	△ 26
自動車販売事業	501	289	212	280	221
その他の事業	269	1,214	△ 944	180	89
調整額	△ 286	△ 262	△ 23	△ 330	43
経常利益	△ 5,354	5,470	△ 10,824 (-)	△ 5,960	605 (10.2%)
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 8,516	2,044	△ 10,560 (-)	△ 8,940	423 (4.7%)
1株当たり当期純利益	△ 693.97円	166.61円	△ 860.58円	△ 728.49円	34.52円
減価償却費	7,070	6,758	311		
資本的支出	7,698	13,480	△ 5,781		
EBITDA(営業利益+減価償却費)	1,129	12,088	△ 10,958		

<営業外・特別損益>

単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	摘要
営業外収益	1,143	573	569	※1 助成金収入 + 736
営業外費用	557	433	123	
特別利益	1,130	209	920	※1 助成金収入 + 885
特別損失	2,511	1,153	1,358	※2 減損損失 + 936 ※3 臨時休業等による損失 + 654

※1 雇用調整助成金等の「助成金収入」について、緊急事態宣言期間の休業等に関わるものは、臨時性を鑑み特別利益に計上、宣言解除期間のものは営業外収益に計上

※2 事業所の再編等により遊休となる固定資産および収益性が低下した資産グループについて、1,325百万円の減損損失を計上

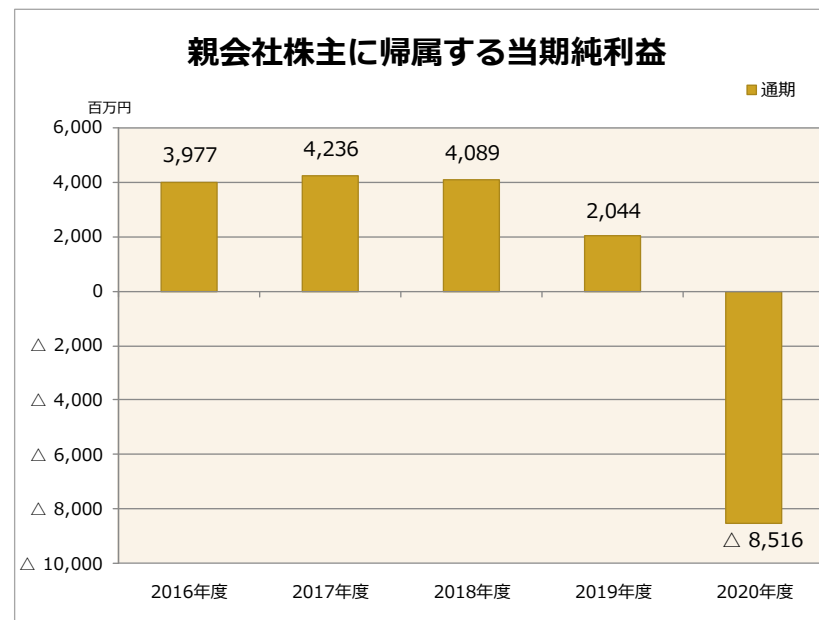
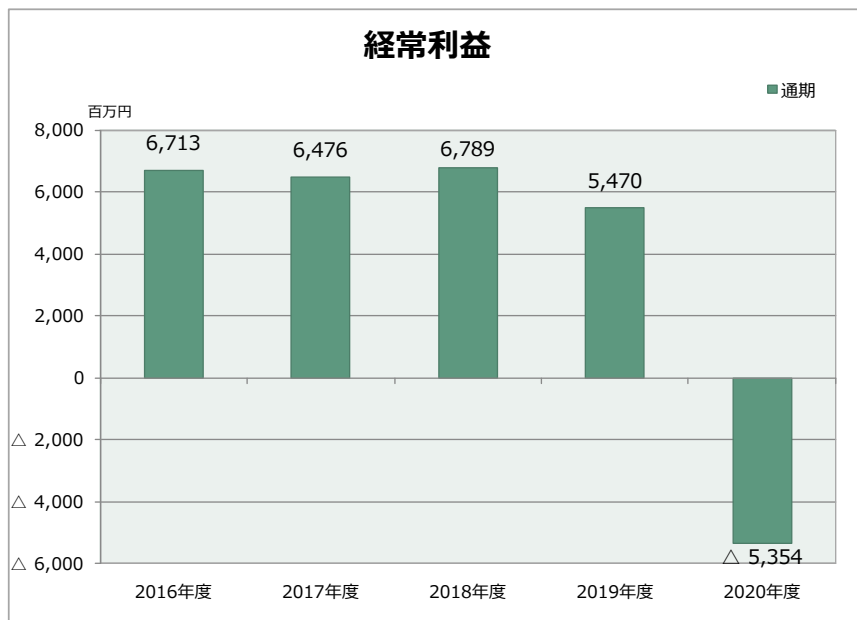
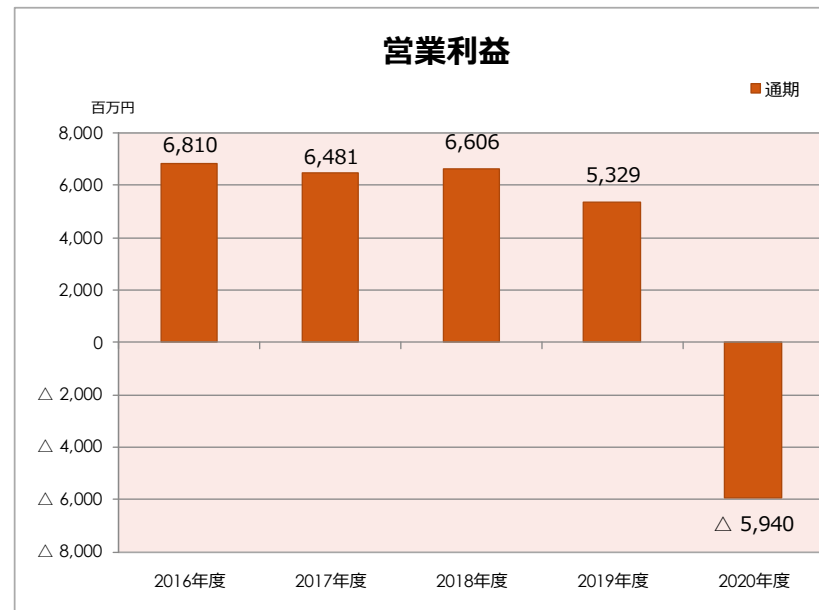
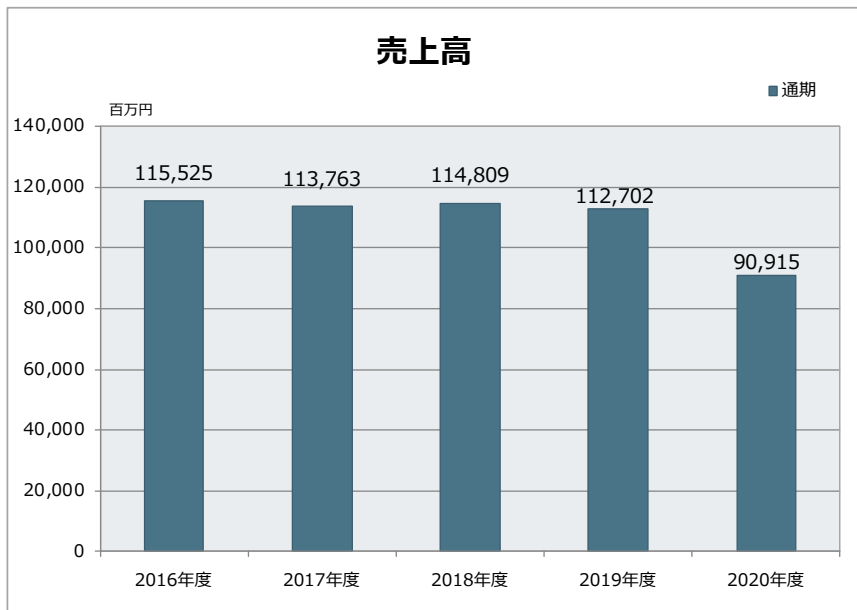
※3 緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した人件費、償却費、賃借料等の固定費を「臨時休業等による損失」として特別損失に計上

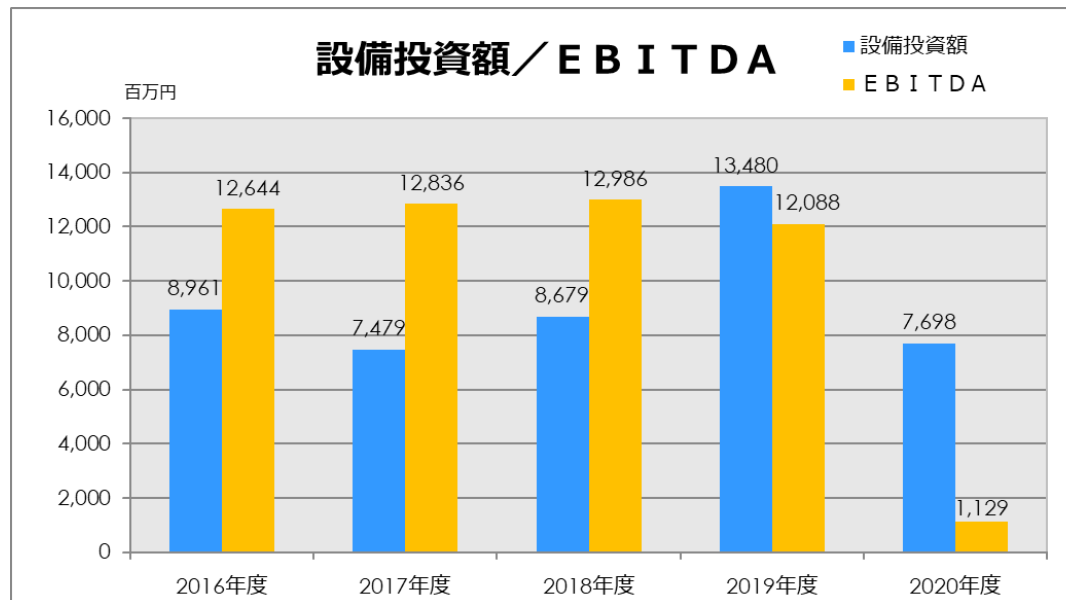
<法人税等>

新型コロナウイルス感染症の拡大による今後の業績への影響などを総合的に勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を計上。

単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	摘要
流動資産	21,057	21,185	△ 127 (△ 0.6%)	
固定資産	138,000	134,969	3,031 (2.2%)	投資有価証券 + 4,729、車両運搬具△1,788
資産合計	159,058	156,154	2,903 (1.9%)	
流動負債	36,783	52,267	△ 15,483 (△ 29.6%)	短期借入金△9,225、1年内償還予定の社債△5,000
固定負債	67,118	43,330	23,788 (54.9%)	長期借入金 + 13,624、社債 + 10,000
負債合計	103,902	95,597	8,304 (8.7%)	
純資産合計	55,156	60,556	△ 5,400 (△ 8.9%)	利益剰余金△8,761、その他有価証券評価差額金 + 3,309
負債純資産合計	159,058	156,154	2,903 (1.9%)	
1株当たり純資産額	4,140.66円	4,557.04円	△ 416.38円	
自己資本比率	31.9%	35.8%	△ 3.9P	
有利子負債残高 (借入金及び社債)	56,208	46,808	9,399	社債 + 5,000、借入金 + 4,399

単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	摘要
営業キャッシュ・フロー	40	9,632	△ 9,592 (△ 99.6%)	税金等調整前当期純利益(損失)△11,261 売上債権の増減額+1,128
投資キャッシュ・フロー	△ 6,257	△ 8,146	1,889 (23.2%)	固定資産の取得による支出+2,057
財務キャッシュ・フロー	6,640	△ 2,091	8,731 (+)	社債の発行による収入+4,978 借入金の増減額+4,570
現金及び現金同等物の増減額	423	△ 604	1,028 (+)	
現金及び現金同等物の期末残高	2,614	2,191	423 (19.3%)	





神奈川中央交通グループ	子会社20社、関連会社3社
うち 連結子会社	20社
持分法適用会社	2社（大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス）

〈主な連結会社〉

■ 一般旅客自動車運送事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、
(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	増減
売上高	40,379	57,155	△ 16,776 (△ 29.4%)	乗合事業△11,986 貸切事業△907 乗用事業△3,882	40,800	△ 420 (△ 1.0%)
営業利益	△ 9,138	1,469	△ 10,607 (-)	乗合事業△8,782 貸切事業△280 乗用事業△1,544	△ 9,420	281 (3.0%)
資産	62,251	62,598	△ 347			
減価償却費	5,103	4,898	204			
減損損失	544	-	544			
資本的支出	3,000	10,468	△ 7,468			

【対前年】

コロナ禍による移動需要の大幅な減少により減収。設備投資の抑制や経費の削減に努めたものの、減収により減益。

【対予想（2021年2月時点）】

乗合事業は、売上高が概ね予想通りに推移したことに加え、人件費等の減少により増収増益。
乗用事業は、需要回復の遅れにより減収減益。

※参考 乗合事業輸送人員

単位：百万人	2021年3月期	2020年3月期	増減率
定期外	121	175	△ 30.8%
定期	53	66	△ 19.9%
合計	174	241	△ 27.8%

単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	摘要
売上高	6,487	6,577	△ 89 (△ 1.4%)	分譲事業△33 賃貸事業△56
営業利益	2,713	2,619	93 (3.6%)	分譲事業+55 賃貸事業+37
資産	40,990	42,286	△ 1,295	
減価償却費	989	957	31	
減損損失	202	164	37	
資本的支出	365	851	△ 485	

2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	増減
7,070	△ 582 (△ 8.2%)
2,740	△ 26 (△ 1.0%)

【対前年】

分譲事業は、計画販売戸数の減少により減収、仲介手数料収入増加による粗利率向上や宣伝費等の経費削減により増益。
賃貸事業は、空室やコロナ禍による売上歩合賃料の減少により減収、修繕費等の経費削減により増益。

【対予想（2021年2月時点）】

分譲事業におけるマンション分譲および戸建分譲の販売計画未達により減収減益。

単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期	増減
					業績予想 (2021年2月公表値)	
売上高	26,120	31,801	△ 5,680 (△ 17.9%)	商用車販売事業△5,945 輸入車販売事業+265	25,830	290 (1.1%)
営業利益	501	289	212 (73.3%)	商用車販売事業+191 輸入車販売事業+20	280	221 (79.1%)
資産	20,955	19,304	1,651			
減価償却費	373	288	84			
減損損失	120	-	120			
資本的支出	3,745	1,449	2,295			

【対前年】

商用車販売事業は、コロナ禍による新車販売の需要減により減収、自動車整備が堅調に推移し増益。
輸入車販売事業は、高単価の新車販売が堅調に推移し増収増益。

【対予想（2021年2月時点）】

商用車販売事業は、自動車整備が堅調に推移し増収増益。
輸入車販売事業は、売上高が概ね予想通りに推移したことに加え、人件費等の減少により増収増益。

※参考 新車販売台数

単位：台	2021年3月期	2020年3月期	増減
トラック	1,857	2,128	△ 271
バス	73	259	△ 186
輸入車	476	514	△ 38

単位：百万円	2021年3月期	2020年3月期	増減	摘要	2021年3月期 業績予想 (2021年2月公表値)	増減
売上高	25,773	31,226	△ 5,453 (△ 17.5%)	流通事業△2,826 飲食・娯楽事業△874 レジャー・スポーツ事業△823	25,430	343 (1.4%)
営業利益	269	1,214	△ 944 (△ 77.8%)	レジャー・スポーツ事業△447 サービス事業(ホテル他)△259 飲食・娯楽事業△140	180	89 (49.9%)
資産	37,335	35,908	1,426			
減価償却費	604	613	△ 9			
減損損失	458	224	233			
資本的支出	832	971	△ 138			

【対前年】

流通事業は軽油販売単価の下落により減収。加えて、緊急事態宣言期間を中心とした臨時休業や営業時間短縮の影響により、レジャー・スポーツ事業、ホテル事業および飲食・娯楽事業が減収となり減益。

【対予想（2021年2月時点）】

売上高は、ビル管理事業における設備更新工事や、商用車架装事業におけるカプラ架装の受注増加により増収。営業利益は、各事業の経費節減や、商用車架装事業の粗利が増加したことにより増益。

2022年3月期の業績予想
(2021年4月27日公表値)

前提条件（通期の見通し）

■新型コロナウイルスの影響

➢ 足元は「変異株」による感染拡大もあり、依然として先行き不透明な状況にあるものの、国内におけるワクチン接種の進捗等により、段階的に回復していくものと想定

一般旅客自動車運送事業	➢ 売上高について、段階的に回復していくものと見込むが、テレワーク等「新しい生活様式」の定着により、感染症拡大前の9割程度で推移するものと想定
不動産事業	➢ 新型コロナウイルスの影響は軽微であると想定
自動車販売事業	➢ 新車販売において、事業環境の改善により法人顧客の代替需要が回復するものと想定
その他の事業	➢ 売上高について、レジャー・スポーツ事業、ホテル事業等において顧客の消費行動変容による影響を見込み、感染症拡大前の概ね8割～9割程度で推移するものと想定

単位：百万円	2022年3月期 業績予想	2021年3月期	増減
売上高	103,200	90,915	12,284 (13.5%)
一般旅客自動車運送事業	51,280	40,379	10,900
不動産事業	7,160	6,487	672
自動車販売事業	26,060	26,120	△ 60
その他の事業	26,120	25,773	346
調整額	△ 7,420	△ 7,846	426
営業利益	4,590	△ 5,940	10,530 (+)
一般旅客自動車運送事業	390	△ 9,138	9,528
不動産事業	2,880	2,713	166
自動車販売事業	400	501	△ 101
その他の事業	1,210	269	940
調整額	△ 290	△ 286	△ 3
経常利益	4,510	△ 5,354	9,864 (+)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,370	△ 8,516	11,886 (139.6%)
1株当たり当期純利益	274.63円	△ 693.97円	968.60円
減価償却費	6,630	7,070	△ 440
資本的支出	11,140	7,698	3,441
EBITDA(営業利益+減価償却費)	11,220	1,129	10,090

単位：百万円	2022年3月期 業績予想	2021年3月期	増減	摘要
売上高	51,280	40,379	10,900 (27.0%)	乗合事業+7,038 貸切事業+563 乗用事業+3,299
営業利益	390	△ 9,138	9,528 (104.3%)	乗合事業+7,287 貸切事業+237 乗用事業+2,004
減価償却費	4,620	5,103	△ 483	
資本的支出	2,870	3,000	△ 130	

【対前年】

コロナ禍による影響からの回復により増収増益。

※参考 乗合事業輸送人員計画

単位：百万人	2022年3月期 業績予想	2021年3月期	増減率
定期外	150	121	24.2 %
定期	62	53	16.8 %
合計	212	174	21.9 %

単位：百万円	2022年3月期 業績予想	2021年3月期	増減	摘要
売上高	7,160	6,487	672 (10.4%)	分譲事業+591 賃貸事業+80
営業利益	2,880	2,713	166 (6.1%)	分譲事業+131 賃貸事業+35
減価償却費	990	989	0	
資本的支出	2,150	365	1,784	

【対前年】

マンション分譲および戸建分譲の販売戸数増加により増収増益。

単位：百万円	2022年3月期 業績予想	2021年3月期	増減	摘要
売上高	26,060	26,120	△ 60 (△ 0.2%)	商用車販売事業△204 輸入車販売事業+144
営業利益	400	501	△ 101 (△ 20.2%)	商用車販売事業△163 輸入車販売事業+62
減価償却費	380	373	6	
資本的支出	420	3,745	△ 3,325	

【対前年】

商用車販売事業は、新車販売台数は増加するものの、自動車整備単価の減少もあり減収減益。
輸入車販売事業は、新車および中古車販売台数の増加により増収増益。

※参考 新車販売台数

単位：台	2022年3月期 業績予想	2021年3月期	増減
トラック	1,950	1,857	93
バス	77	73	4
輸入車	599	476	123

単位：百万円	2022年3月期 業績予想	2021年3月期	増減	摘要
売上高	26,120	25,773	346 (1.3%)	レジャー・スポーツ事業+811 サービス事業(ホテル他)+709 流通事業△1,010
営業利益	1,210	269	940 (+)	レジャー・スポーツ事業+610 サービス事業(ホテル他)+238
減価償却費	620	604	15	
資本的支出	5,770	832	4,937	

【対前年】

レジャー・スポーツ事業、ホテル事業および飲食・娯楽事業は、コロナ禍による影響からの回復により増収増益。
流通事業は収益認識会計基準の適用により減収。

単位：百万円	2022年3月期 業績予想	2021年3月期	増減
売上高	47,600	40,085	7,514 (18.7%)
営業利益	2,130	△ 5,454	7,584 (139.0%)
経常利益	2,190	△ 5,853	8,043 (137.4%)
特別利益	100	217	△ 117 (△ 54.1%)
特別損失	610	971	△ 361 (△ 37.2%)
当期純利益	1,760	△ 7,428	9,188 (123.7%)
1株当たり 当期純利益	143.90円	△ 605.29円	749.19円

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

〈お問い合わせ先〉

神奈川中央交通株式会社 総務部 TEL : 0463-22-8800